

中小企業の経営課題にワンストップ支援

(公財)かがわ産業支援財団

(公財)かがわ産業支援財団は、経済産業省からの委託を受け「香川県よろず支援拠点」を設置。中小企業などの経営者や創業を目指す方のお悩みに対して、課題解決のアドバイスを行う専門家を12人配置し、無料で何度でも相談に応じます。経営改善、創業、商品開発、販路拡大、IT、デザイン、広報などさまざまな分野の専門家(コーディネーター)がそろっていますので、一つの課題が解決すれば次の課題へ進むなど、チームとなってワンストップでの支援を行っています。



相談には予約が必要です。高松市の拠点のほか県内5カ所にサテライトを設置し、月1~2回出張相談も行っていますので、まずはお電話ください。

香川県よろず支援拠点 ☎087-868-6090
(高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階)



「元は製材業だったんですよ」と振り返る、福本修一社長。自衛隊で特殊車両の修理を担当していた父がその後、製材屋として独立し、山で切り出した木材を輸送するために独自の車をつくったのが始まりでした。輸送といえば牛馬の時代、近隣農家などの目に留まり、農業・林業・建設業向けに「山で力を発揮する車」に特化したものづくりがスタートします。

一時は軽トラ人気に押されてニーズが減ったものの、畑や果樹に農業を散布する機械のメーカーとの出会いが全国販売のきっかけとなり、「何でも載せられる車」づくりに発展していきました。15年ほど前からは自社

ら興味があった設計の仕事をしたくて、県外から入社を決めたそう。工場などで使う搬送車両を中心に7年間で約20台を手掛け、着実に技術を身に付けてきました。「他社にはできないことをやれる技術力が当社の強み。失敗もノウハウにつながると思って、どんどん挑戦させてくれる社風もあり、幅広い知識と技術が身に付きます。今後はさらにスピード対応を目指したいと思っています」と力を込めます。

どんな搬送もお任せ！



福本修一社長

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

「大手には難しいオーダーメイドも、小回りの利く中小企業なら手掛けられる。私たちはあくまで車屋だと自負していて、車に関する事でオンラインワンを目指したいんです。自分がつくったものを、お客さまが使ってくださるのがうれしい」と、ものづくりの醍醐味を語ってくれました。



柔軟な設計力で
唯一無二を形にする

小さなボディで何十トンの荷物を軽々運ぶ車、難所の輸送に強い搬送車、遊園地のパレードカー、福本ボデーが手掛ける車両はいずれもオーダーメイドで、一つとして同じものはありません。自社一貫で設計・製造・組み立てが可能な体制を整えていて、柔軟な対応が可能ということもあり、依頼は全国から舞い込みます。アジアや南米など、日本企業が展開する海外工場への搬入例も

「運ぶ車」のエキスパート

挑戦する かがわの ものづくり企業

社内ニーズから始まったものづくりが、やがて全国に展開。香川発の高い技術力や独創的な発想を生かし、幅広い市場で飛躍するユニークな企業をご紹介します。

株式会社福本ボデー

住所 三豊市高瀬町下麻1064-1
創業 1963年
<http://www.fukumotobody.jp/>



「速度や高さなどそれぞれの条件の範囲内で形にしなければならず、どうしても不可能な場合もある。そこを創意工夫で乗り越えて、ご要望にきちんと応える車をつくられたと実感できた時はうれしいですね」と、開発部の藤井圭太さん。大学の頃から



藤井圭太さん